

令和3年度第2回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

地域概況

作成：日本データーサービス株式会社



1.	江差町地域公共交通計画の策定について	2
1-1	計画策定の目的	2
1-2	計画策定までのフロー	2
1-3	今後のスケジュール（令和3年度）	3
2.	地域概況の整理	4
2-1	65歳以上の運転免許非保有率の状況	4
2-2	都市機能の立地状況	5
3.	公共交通の運行状況の整理	6
3-1	町内公共交通の運行状況	6
3-2	町内公共交通のカバー圏整理	7
3-3	町内公共交通でアクセス可能な都市機能施設の整理	9
4.	地域概況及び公共交通運行状況の整理	11
5.	町民ニーズ把握調査	12
6.	町民意見交換会	13

1. 江差町地域公共交通計画の策定について



1-1 計画策定の目的

- ・町内を運行する公共交通の効率的な運行
- ・町内に存在する交通空白地域への対応
- ・まちづくり計画との整合性を図った公共交通網の構築
- ・積極的に公共交通を使う町民の意識醸成

これらを解決し、

江差町に住み続けられる公共交通網を構築

することを目的に江差町地域公共交通計画を策定

1-2 計画策定までのフロー

R3年度 (実態把握フェーズ)

◆現況交通実態調査

- ・人口分布等の地域概況整理及び利用実態調査等を通じて町内を運行している公共交通の運行・利用実態を整理

◆町民ニーズ把握調査

- ・町民の公共交通へのニーズ把握に向け、約1,700世帯を対象にアンケート調査を実施

◆町民意見交換会

- ・町民が普段感じている公共交通に関するニーズ等の把握に向けた町民意見交換会を開催

R4年度 (計画策定フェーズ)

◆バス利用実態調査

- ・江差町内を運行するバス路線（8路線）の利用実態調査の実施

◆町民意見交換会

- ・R3年度で調査した結果を踏まえ、計画期間で実施していく施策内容について協議

◆地域公共交通計画（案）の作成

- ・町民ニーズを踏まえ、施策や目標値を記載した地域公共交通計画（案）を作成

◆計画推進に向けた関係者ヒアリング

- ・計画策定後、早期の計画着手に向け、運行計画の作成など、関係者へのヒアリングを実施

◆実証運行計画の立案・実証運行の支援

- ・計画策定後、町内交通の本格運行を行っていくことを見据え、ルート・エリア、便数、時刻、運賃等を明記した実証運行計画を策定するとともに、実証運行までの準備・取りまとめ等を実施

R5年度以降 (施策実施フェーズ)

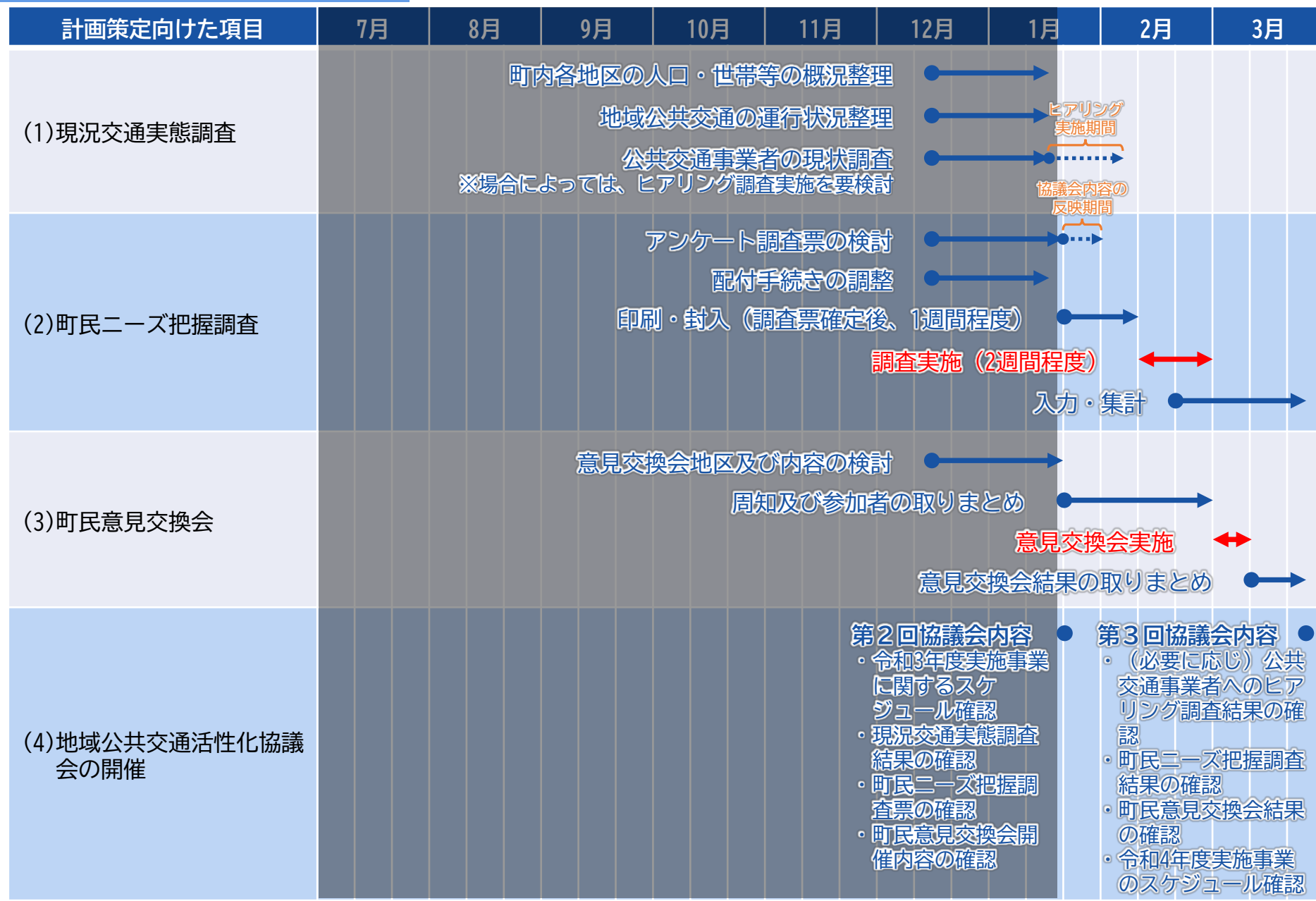
◆施策施行 (実証運行・本格運行等)

- ・令和4年度に実施予定の実証運行及び実証運行結果を踏まえた本格運行計画等の策定を実施
- ・江差町地域公共交通計画に示す、利用促進策等も適宜実施

1. 江差町地域公共交通計画の策定について



1-3 今後のスケジュール（令和3年度）



2. 地域概況の整理



2-1 65歳以上の運転免許非保有率の状況

【現状・問題点】

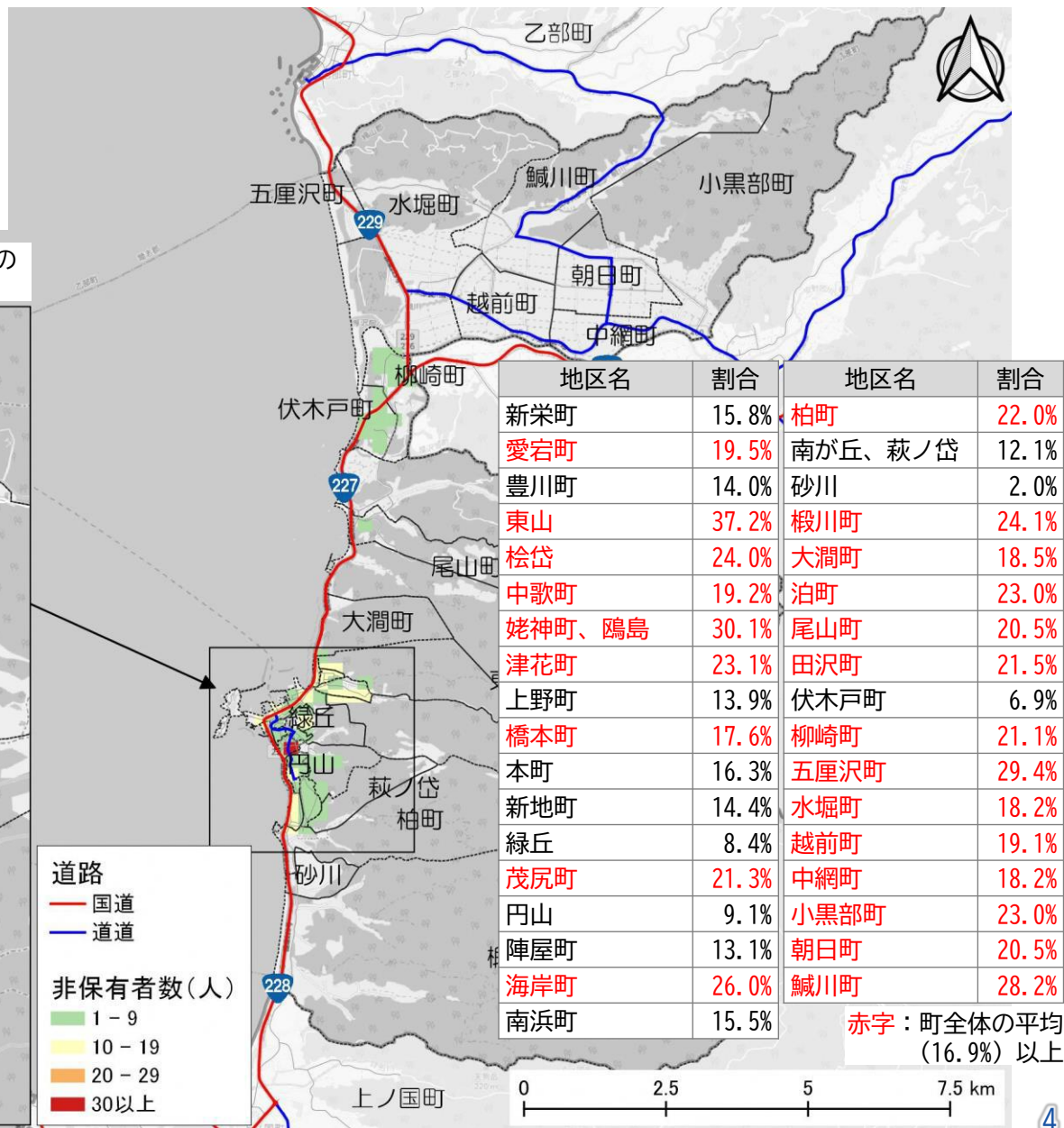
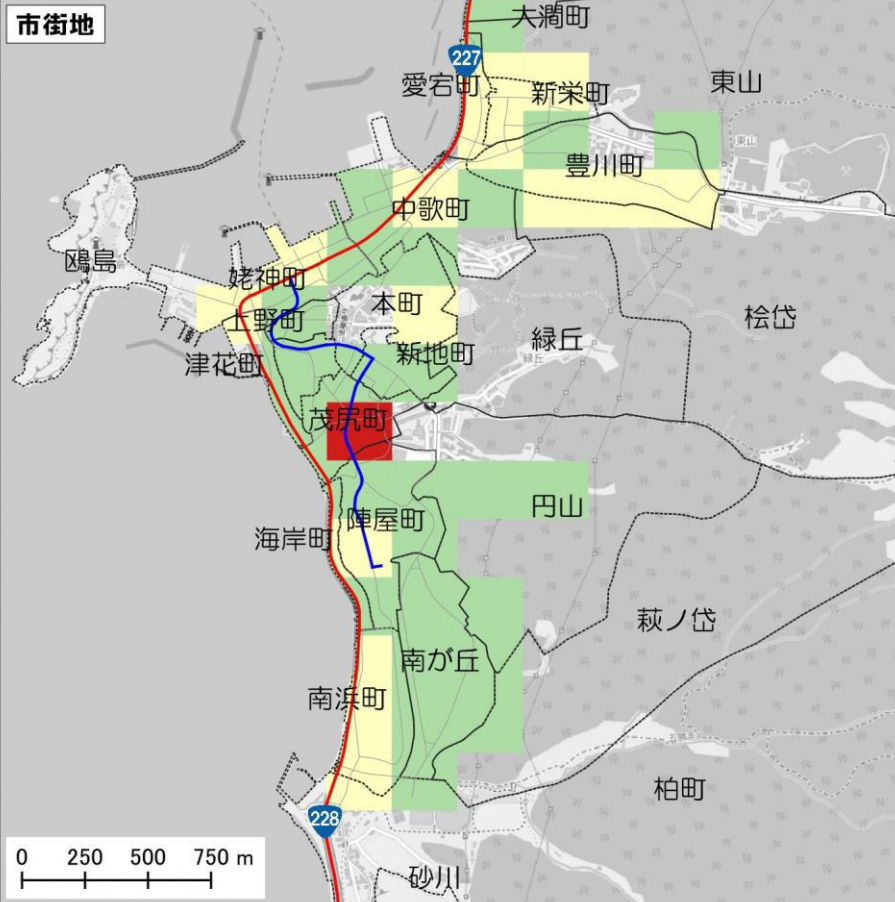
- ・ 郊外部の非保有率が高い状況
- ・ 市街地の非保有者数が多い状況

【課題整理】

- ・ 高齢者にも利用しやすい交通モード及び交通サービスの提供

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）

運転免許非保有率の算定：年代別運転免許保有状況（R2.12）より年代別の保有率を算定、保有率を国勢調査（H27）の値に乗じて算定



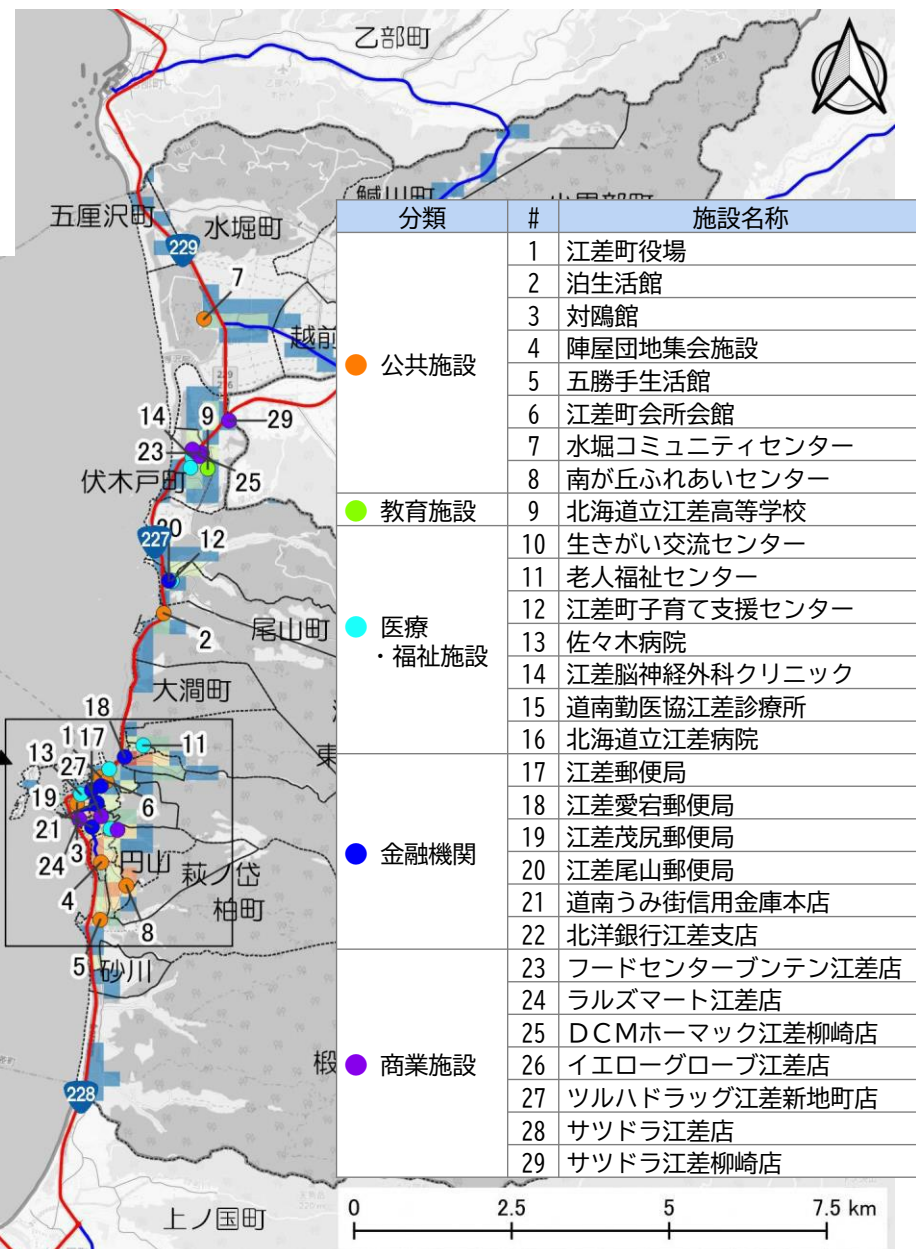
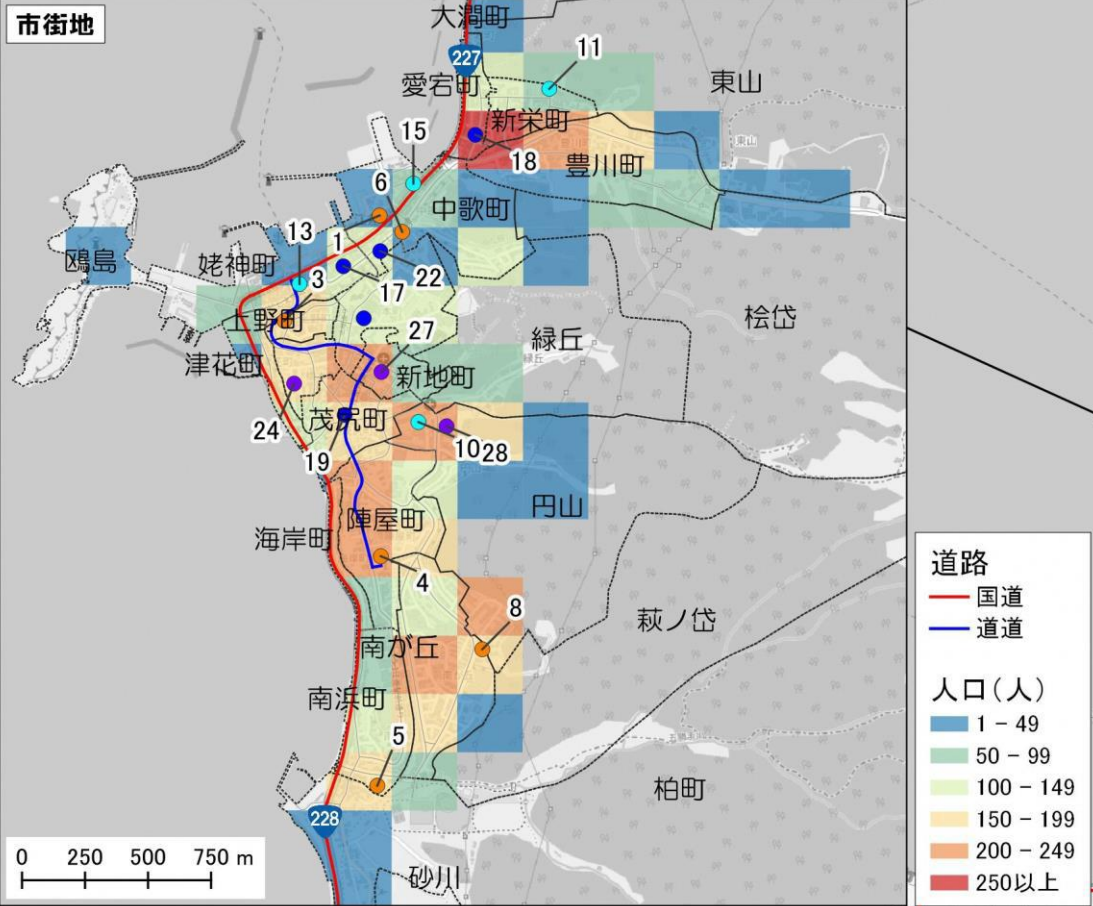
2. 地域概況の整理



2-2 都市機能施設の立地状況

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）

- 生活圏**
- 【現状・問題点】
- 都市機能施設の多くは、市街地（上町）および伏木戸町に集積
- 【課題整理】
- 市街地以外の地域から、市街地および伏木戸町までのアクセス交通の確保



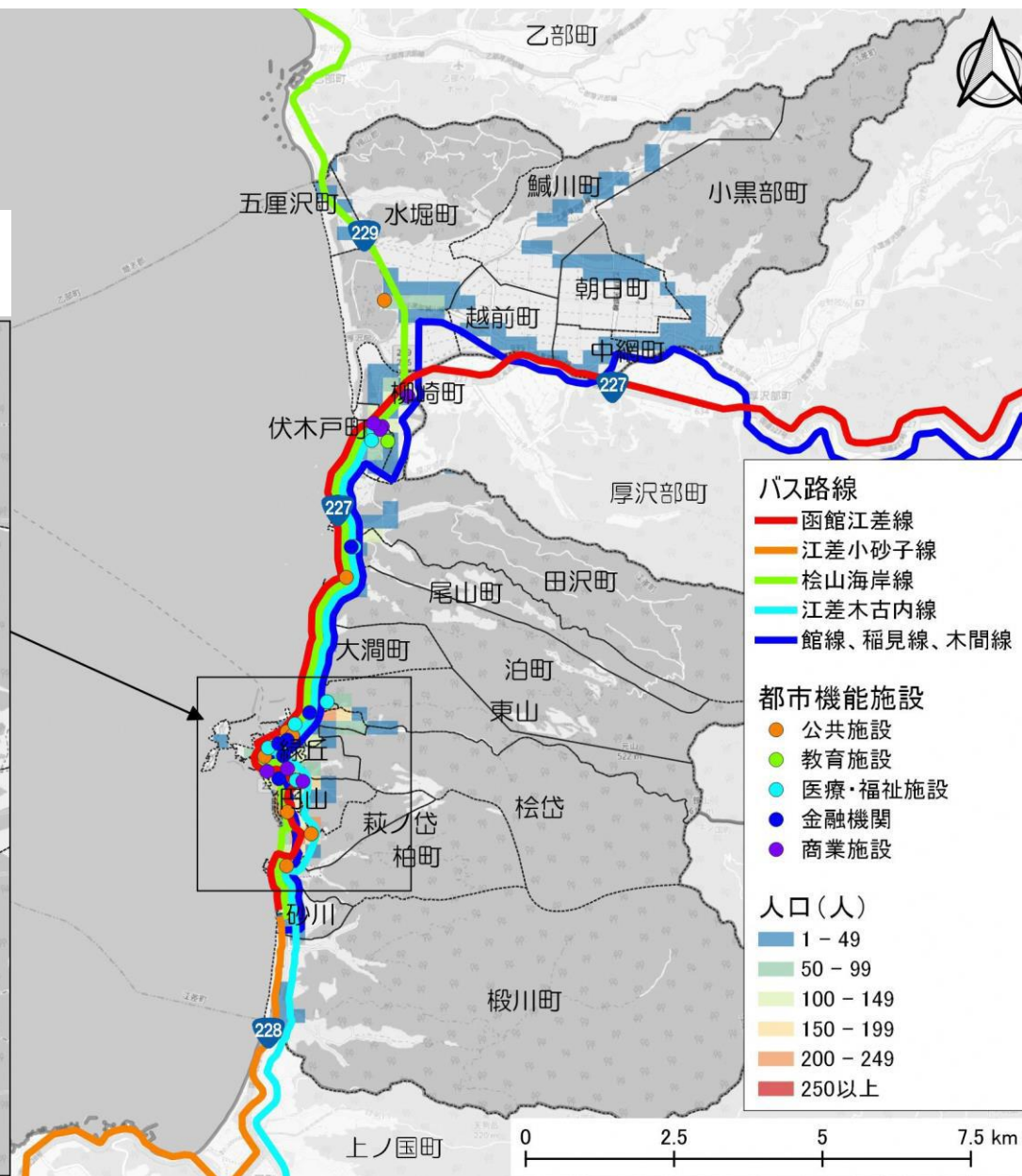
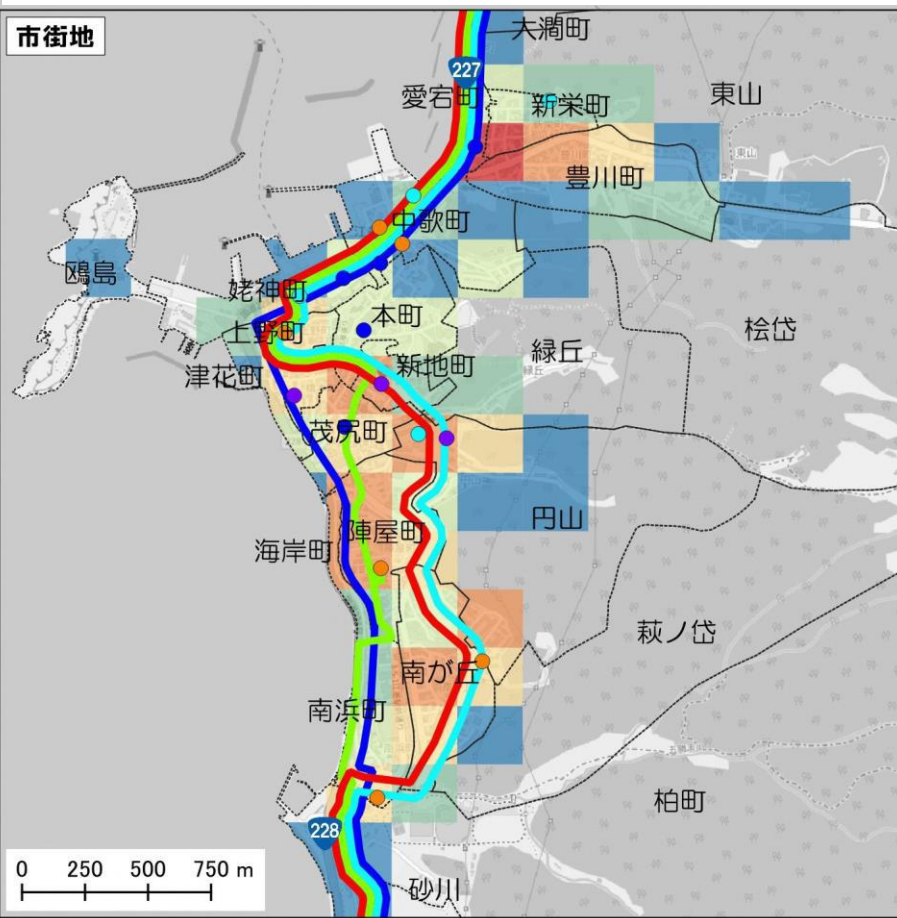
3. 公共交通の運行状況の整理



3-1 町内公共交通の運行状況

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）

【注意】館線、稲見線、木間線は、町内では同じ道路を走行しているが、厚沢部町内で走行箇所が変わる。本資料では館線（642系統）を記載している



- バス路線**
- 函館江差線
 - 江差小砂子線
 - 桧山海岸線
 - 江差木古内線
 - 館線、稲見線、木間線
- 都市機能施設**
- 公共施設
 - 教育施設
 - 医療・福祉施設
 - 金融機関
 - 商業施設
- 人口(人)**
- 1 - 49
 - 50 - 99
 - 100 - 149
 - 150 - 199
 - 200 - 249
 - 250以上

3. 公共交通の運行状況の整理

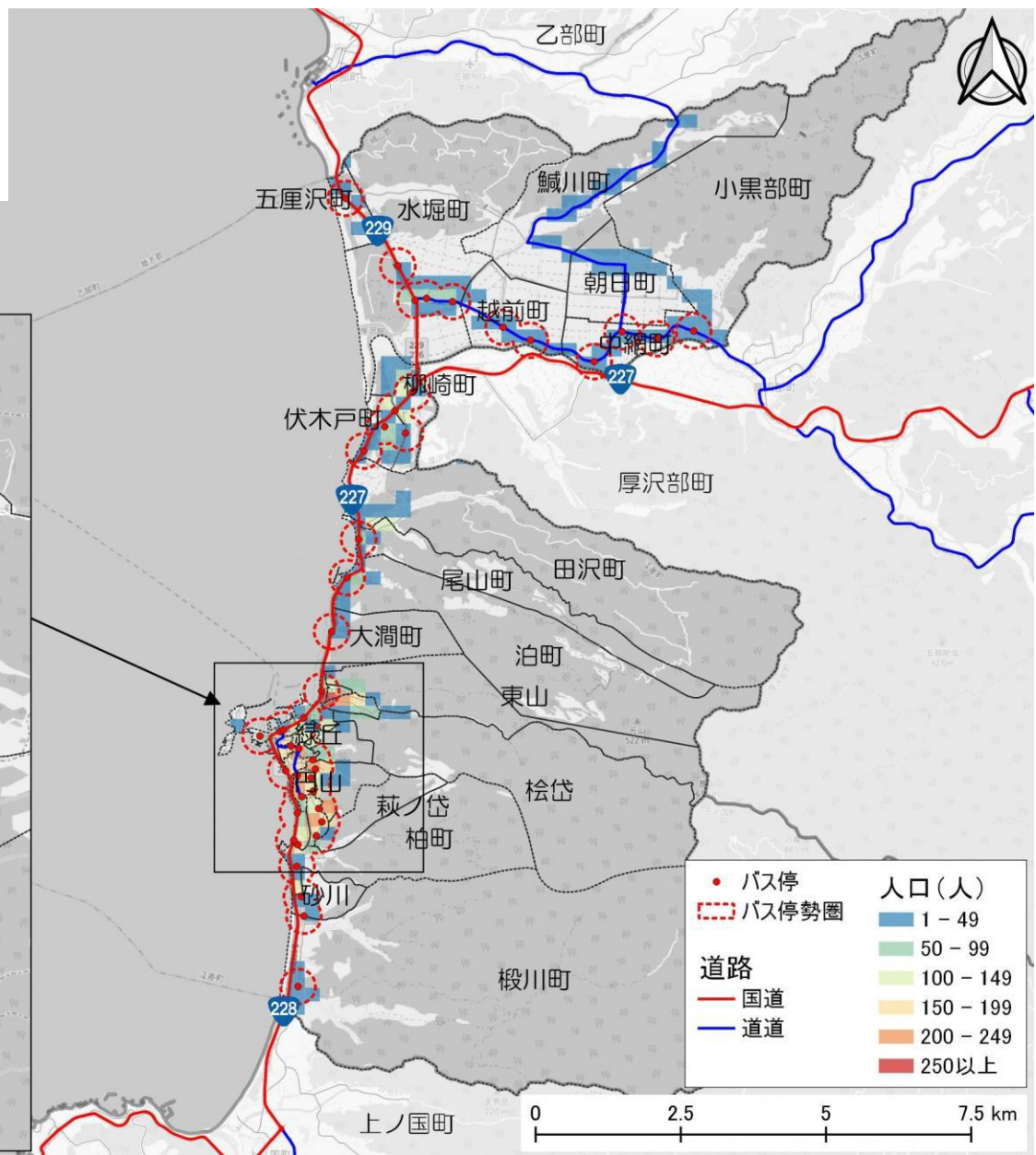
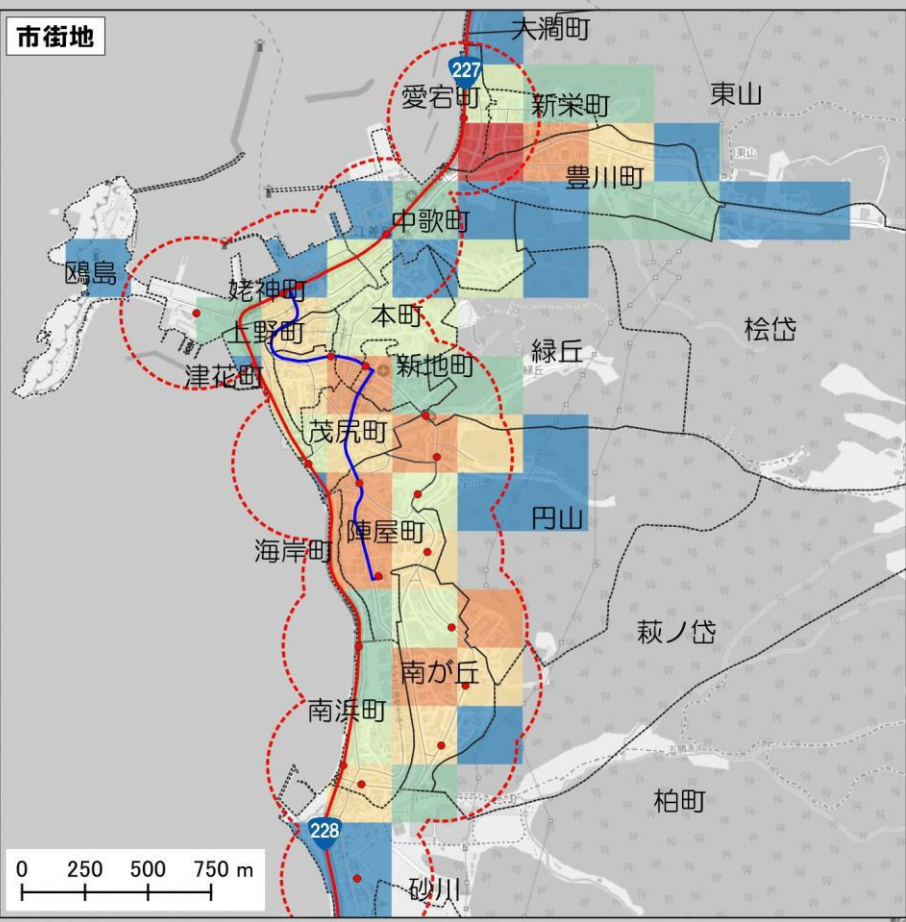
3-2 町内公共交通のカバー圏整理

【現状・問題点】

- ・町民の54%がバス停勢圏（300m）以内
- ・高齢化率の高い地域において公共交通カバー率が低調

【課題整理】

- ・市街地や農村部などの交通空白地域の対応



● バス停	人口(人)
--- バス停勢圏	1 - 49
道路	50 - 99
— 国道	100 - 149
— 道道	150 - 199
	200 - 249
	250以上

3. 公共交通の運行状況の整理

地域名	人口 (人)	バス勢力圏 人口(人)	バス勢力圏 人口割合	高齢化率
新栄町	301	187	62.3%	32.2%
愛宕町	153	153	100.0%	39.9%
豊川町	626	56	8.9%	28.6%
東山	79	1	0.7%	75.9%
松岱	45	0	0.0%	48.9%
中歌町	281	176	62.5%	39.1%
姥神町	169	169	100.0%	63.9%
鷗島	7	0	4.2%	0.0%
津花町	157	152	97.1%	47.1%
上野町	116	116	100.0%	28.4%
橋本町	131	131	100.0%	35.9%
本町	264	227	86.2%	33.3%
新地町	119	119	100.0%	29.4%
緑丘	87	11	12.8%	17.2%
茂尻町	386	386	100.0%	43.5%
円山	697	233	33.5%	18.7%
陣屋町	567	567	100.0%	26.8%
海岸町	49	49	100.0%	53.1%
南浜町	372	372	100.0%	31.7%

地域名	人口 (人)	バス勢力圏 人口(人)	バス勢力圏 人口割合	高齢化率
柏町	254	15	5.7%	44.9%
南が丘	734	734	100.0%	24.9%
萩ノ岱	7	1	10.9%	0.0%
砂川	25	9	37.3%	4.0%
榎川町	57	1	1.5%	49.1%
大瀬町	77	6	8.4%	37.7%
泊町	132	3	2.3%	47.0%
尾山町	284	15	5.1%	41.9%
田沢町	221	1	0.6%	43.9%
伏木戸町	354	261	73.8%	14.1%
柳崎町	525	203	38.6%	43.0%
五厘沢町	25	9	35.0%	60.0%
水堀町	426	38	9.0%	37.1%
越前町	118	30	25.1%	39.0%
中瀬町	70	29	40.8%	37.1%
小黒部町	162	7	4.3%	46.9%
朝日町	79	2	3.1%	41.8%
鯉川町	92	0	0.0%	57.6%
江差町全体	8,248	4,468	54.2%	34.4%

赤文字：バス勢力圏人口割合が町全体（54.2%）より低い

：高齢化率が町全体（34.4%）より高い

3. 公共交通の運行状況の整理

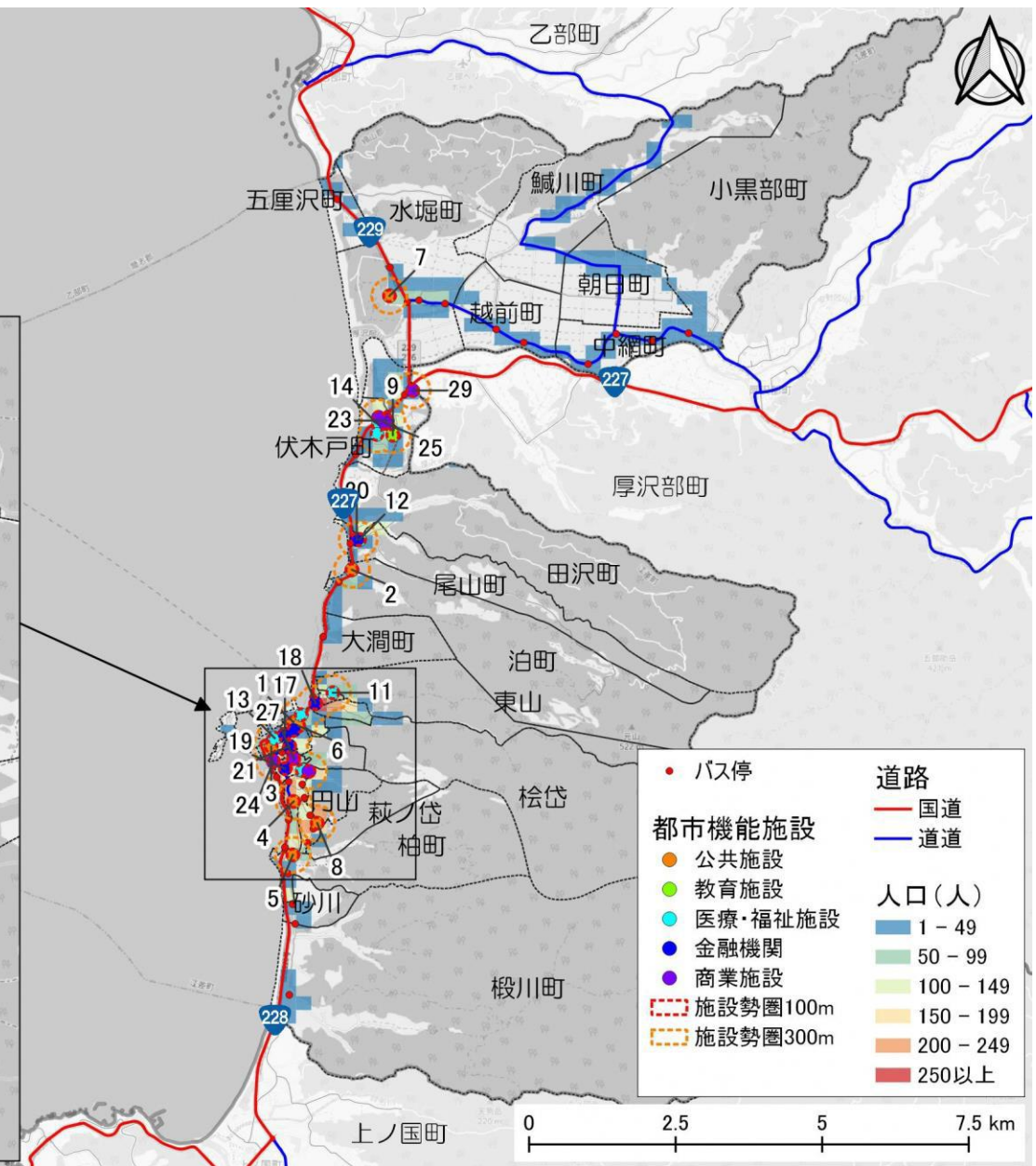
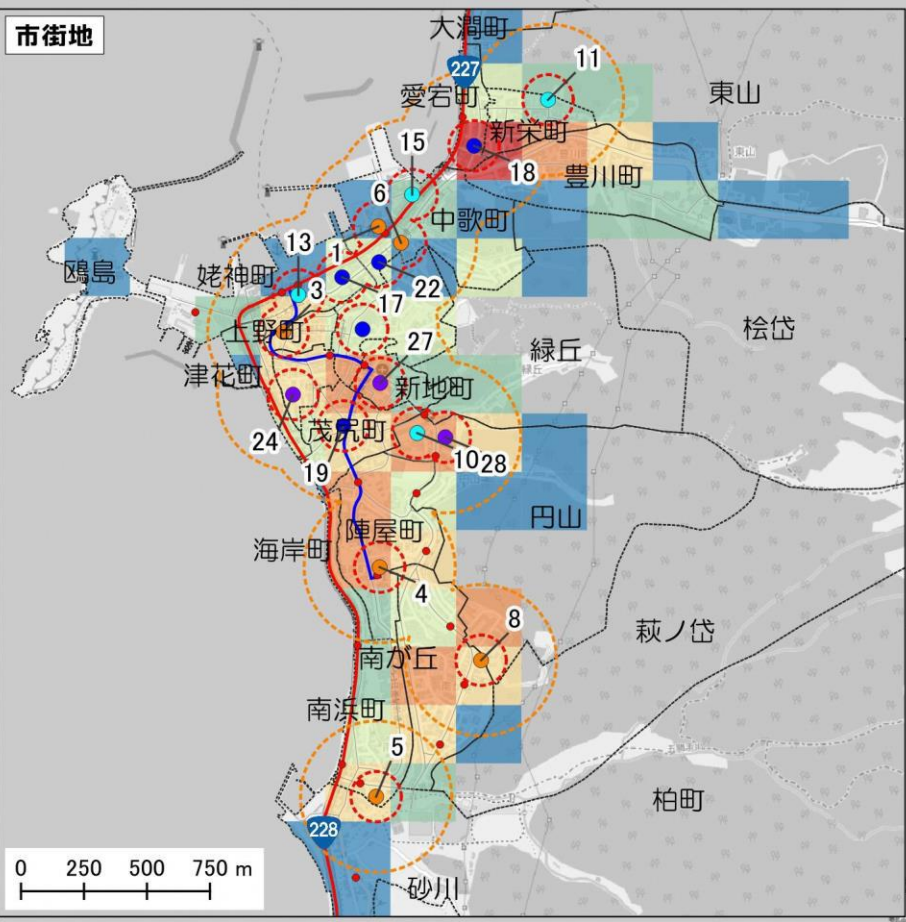
3-3 町内公共交通でアクセス可能な都市機能施設の整理

【現状・問題点】

- ・都市機能施設（29箇所）のうち、バス停が100m以内に設置されている施設は約3割（9箇所）

【課題整理】

- ・自動車運転免許のない町民の移動手段の確立





3. 公共交通の運行状況の整理

都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏
公共施設	江差町役場	○	○
	泊生活館	-	-
	対鷗館	-	○
	陣屋団地集会施設	○	○
	五勝手生活館	○	○
	江差町会会館	-	○
	水堀コミュニティセンター	-	-
	南が丘ふれあいセンター	-	○
教育施設	北海道立江差高等学校	○	○
医療・福祉施設	生きがい交流センター	○	○
	老人福祉センター	-	-
	江差町子育て支援センター	-	○
	佐々木病院	○	○
	江差脳神経外科クリニック	○	○
	道南勤医協江差診療所	-	○
	北海道立江差病院	○	○

都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏
金融機関	江差郵便局	-	○
	江差愛宕郵便局	-	○
	江差茂尻郵便局	-	○
	江差尾山郵便局	-	○
	道南うみ街信用金庫本店	-	○
	北洋銀行江差支店	-	○
商業施設	フードセンタースンテン江差店	-	○
	ラルズマート江差店	-	○
	DCMホームック江差柳崎店	-	○
	イエローグローブ江差店	-	○
	ツルハドラッグ江差新地町店	○	○
	サツドラ江差店	○	○
	サツドラ江差柳崎店	-	○

100m圏、300m圏：各施設より100m・300mに、バス停があるものは「○」



4. 地域概況及び公共交通運行状況の整理

種別	分野	課題
地域概況	人口推移及び分布状況（第1回資料）	・ 市街地内における公共交通による移動サービスの維持・確保 ・ 郊外部の居住形態に即した交通の検討
	高齢化率の状況（第1回資料）	・ 高齢者にも利用しやすい交通モード及び交通サービスの提供
	65歳以上の運転免許非保有率の状況	
	都市機能施設の立地状況	・ 市街地以外の地域から市街地および伏木町までのアクセス交通の確保
公共交通の運行状況	町内公共交通のカバー圏整理	・ 市街地や農村部などの交通空白地域の対応
	町内公共交通でアクセス可能な都市機能施設の整理	・ 自動車運転免許のない町民の移動手段の確立

今後、各種調査を通じて、追加で問題点及び課題を整理します。



5. 町民ニーズ把握調査

5-1 町民ニーズ把握調査実施の目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、町民の生活圏の把握に加え、町民が考えている公共交通に対するニーズを把握することを目的に、町内1,700世帯を対象に、町民ニーズ把握調査（アンケート調査）を実施

5-2 調査実施時期

- ・令和4年2月を予定

5-3 調査対象

- ・江差町に居住する15歳以上の町民（1,700世帯）
- ※1世帯に2票を配布予定（1人世帯の場合は1票の回答、2人以上世帯については公共交通を利用するあるいは利用したい方が優先的に回答）

5-4 調査項目

項目	内容	ねらい
1. 属性	・性別、年齢 ・職業 ・居住地 ・免許証及び自動車の保有状況 ・自動車の運転意向 ・運転困難時の移動手段 ・免許証返納による困ること	・年齢や免許証保有状況、地区などの個人属性の把握 ・他項目とのクロス集計による属性ごとの傾向分析に活用
2. 日常的な生活状況	・移動手段及び移動先、移動時間等 -通勤・通学、買い物、通院、私用などのお出かけの4目的	・現状の生活行動の実態把握 ・「生活圏」及び「医療圏」の把握・分析に活用
3. 公共交通に対するニーズ	・普段の移動で困っていること ・運行してほしい公共交通 -その運賃 -導入による外出機会の変化 -その利用目的 ・MaaS等の利用意向 -スマートフォン等の携帯端末の保有状況 -携帯端末の利用用途 -携帯端末を活用した公共交通予約等のサービス利用意向	・新たな公共交通等の導入に関する検討項目 ・個人属性等とクロス集計により、各地区で導入すべきモードの検討やMaaS等の利用意向を把握に活用



6. 町民意見交換会

6-1 町民意見交換会開催の目的

・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、町民ニーズ把握調査等では把握できない、細かな町民の生活移動実態や公共交通へのニーズを把握することを目的に、町民意見交換会を開催

6-2 意見交換会開催時期

・令和4年3月を予定
※新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施時期は要検討

6-3 意見交換会対象

・江差町に居住する町民
※開催する地区等については、事務局内で検討中

6-4 意見交換会タイムスケジュール案

内容		所要時間
1.	冒頭挨拶	5分
2.	情報提供	
(1)	町民ニーズ把握調査結果について	15分
(2)	えさしMaaSについて	10分
3.	意見交換会	
(1)	現状の移動状況及び生活圏	20分
(2)	普段の生活移動で困っていること	20分
(3)	提供してほしい生活移動支援策	20分
合計		90分

3.公共交通に対するニーズについて教えてください。

問14 普段の生活において、移動で困っていること【いくつでも】

ア.自動車を運転できないため、外出する機会が制限されている

イ.周りに送迎してくれる人がおらず、外出する機会が制限されている

ウ.近所の人と送迎しあっているが、事故などの不安がある

エ.冬場の運転に不安がある

オ.その他()

カ.困っていることはない

問15 生活の足として新たに運行してほしい交通サービス【1つだけ】

ア.予約運行型バス(予約に応じて、ご自宅の付近まで迎えにくる交通)が運行してほしい

イ.コミュニティバス(決まった時間に決まった路線を運行する交通)が運行してほしい

ウ.タクシーチケットなどの既存の交通の料金割引

エ.その他()

表『予約運行型バス』と『コミュニティバス』の比較

	予約運行型バス	コミュニティバス
特徴	「自宅」と「予め決まった施設」の間を運行	路線バスよりきめ細かいルートを運行
予約の有無	事前予約が必要	事前予約が不要
ルート(経路)	決まった時間に予約状況に応じてルートが変更	決まった時間に決まったルートで運行
運賃	タクシーよりは安いが路線バスよりは高い	路線バスと同等又は安い

問16 運行してほしい交通が導入されたとき、1回当たり最大いくらまでであれば、利用しますか【1つだけ】

ア.100円

イ.200円

ウ.300円

エ.400円

オ.500円

カ.その他()円

問17 運行してほしい交通が導入されたとき、公共交通を利用した外出機会は変化しますか【1つだけ】

ア.外出が増えると思う

イ.変わらないと思う

→ 問20へお進みください。

※問17で「ア.」と回答された方にお聞きます。

問18 想定される外出回数【1つだけ】

ア.週に()日

イ.月に()日

ウ.年に()日

※問17で「ア.」と回答された方にお聞きます。

問19 想定される利用目的【1つだけ】

ア.通勤

イ.通学

ウ.買い物

エ.通院

オ.私用

カ.その他()

問20 スマートフォン等の携帯端末で、公共交通の運行状況の検索や公共交通の予約等を行えるサービスが運用されれば、利用したいと思いますか【1つだけ】

ア.利用したい

イ.利用しない

※問20で「ア.」と回答された方にお聞きます。

問21 スマートフォン等の携帯端末で、公共交通の運行状況の検索や公共交通の予約等を行えるサービスが運用された場合、外出回数はどの程度になりますか【1つだけ】

ア.週に()日

イ.月に()日

ウ.年に()日

※問20で「ア.」と回答された方にお聞きます。

問22 想定される利用目的【1つだけ】

ア.通勤

イ.通学

ウ.買い物

エ.通院

オ.私用

カ.その他()

自由記述欄

p. 4

アンケートへのご協力ありがとうございました。

江差町の公共交通をより良くするためのアンケート調査票(案)

資料2

■選択肢に「○」を付ける質問には、「1つだけ」、「いくつでも」の2種類がございます。

■質問中で、()部分には、当てはまる数字、あるいは質問の内容を踏まえた具体的な記述をお願いいたします。

1.あなたご自身のことについて教えてください。

※年齢や免許証保有状況、地区などの個人属性の把握⇒他項目とのクロス集計による属性ごとの傾向分析

問1 あなたの性別・年齢【それぞれ1つだけ】

①性別	ア.男性	イ.女性	ウ.その他		
②年齢	ア.15～19歳	イ.20歳代	ウ.30歳代	エ.40歳代	オ.50歳代
	カ.60～64歳	キ.65～69歳	ク.70歳代	ケ.80歳以上	

問2 あなたの職業【1つだけ】

ア.会社員・団体職員

イ.自営業

ウ.農林水産業

エ.公務員

オ.パート・アルバイト

カ.学生

キ.主婦・主夫

ク.無職

ケ.その他()

問3 あなたの住所【1つだけ】

ア.南浜町

イ.柏町

ウ.南が丘

エ.砂川

オ.萩ノ岱

カ.楳川町

キ.上野町

ク.橋本町

ケ.本町

コ.新地町

サ.緑丘

シ.茂尻町

ス.円山

セ.陣屋町

ソ.海岸町

タ.新栄町

チ.愛宕町

ツ.豊川町

テ.東山

ト.桧岱

ナ.中歌町

ニ.姥神町

ヌ.津花町

ネ.鷗島

ノ.大潤町

ハ.泊町

ヒ.尾山町

フ.田沢町

ヘ.伏木戸町

ホ.柳崎町

マ.水堀町

ミ.越前町

ム.五厘沢町

メ.中網町

モ.小黒部町

ヤ.朝日町

ユ.鰾川町

問4 免許・自動車の保有状況【1つだけ】

ア.免許も自動車も持っている

イ.免許も自動車もあるが免許返納を考えている

ウ.免許はあるが、自動車はない

エ.以前は免許を持っていたが、免許返納をした

オ.免許を持ったことがない

→ 中面の「問8 通学・通勤の状況」へお進みください。

※問4で「ア.」もしくは「イ.」と回答された方にお聞きます。

問5 自動車の運転意向【1つだけ】

ア.()歳頃まで運転したい

イ.できる限りずっと運転したい

ウ.今すぐにでもやめたい(免許返納をしたい) →

エ.分からない

オ.その他()

免許返納したい理由あるいは免許返納がいますぐできない理由をお書きください

※問4で「ア.」もしくは「イ.」と回答された方にお聞きます。

問6 将来、運転が困難になった場合の移動手段【いくつでも】

ア.徒歩、自転車

イ.バスを利用する

ウ.タクシーを利用する

エ.外出支援サービスを利用する

オ.家族や知り合いに送迎してもらう

カ.町内の便利なところに引っ越す

キ.町外の便利なところに引っ越す

ク.外出を控える

ケ.その他()

※問4で「ア.」もしくは「イ.」と回答された方にお聞きます。

問7 免許返納により困ること【いくつでも】

ア.買い物に行けなくなる

イ.通院ができなくなる

ウ.仕事ができなくなる

エ.自分の趣味の活動が制限される

オ.特に困ることはない

カ.その他()

中面 (p.2) にお進みください

p. 1

2.あなたの日常生活状況について教えてください。 ※現状の生活行動の実態把握 ⇒「生活圏」及び「医療圏」の把握・分析

問8 通学・通勤の状況についてお聞きします。

①通学・通勤の状況【1つだけ】	ア.通学している イ.通勤している（パート・アルバイトを含む） ウ.通学・通勤はしていない → 「問9 買い物の状況」へお進みください。		
②通学先もしくは通勤先【1つだけ】 ※具体的な高校名または、通勤先の地区名もご記入下さい	ア.江差町 イ.上ノ国町 ウ.厚沢部町 エ.乙部町 オ.函館市 カ.七飯町 キ.北斗市 ク.その他（ ） 通学先の高校名（ ） 江差町内の通勤先（ ）※地区名でお答えください		
③通学・通勤する際の交通手段【いくつでも】	ア.徒歩 イ.自転車 ウ.函館バス エ.タクシー オ.原付・バイク カ.自動車(自分の運転) キ.自動車(家族の送迎) ク.自動車(家族以外の送迎) ケ.その他（ ）		
④通学・通勤先に到着する時間帯	記入例（ 7 ）時台 （ ）時台	⑤通学・通勤先から帰宅する時間帯	記入例（ 16 ）時台 （ ）時台

問9 買い物の状況についてお聞きします。

①商品宅配等の利用状況【いくつでも】	ア.商品宅配（インターネット利用含む）を利用している イ.移動販売車を利用している ウ.買い物代行サービスを利用している エ.介護や障害などのヘルパーに対する買い物を依頼している オ.その他のサービス（サービス名： ）を利用している カ.利用していない		
②直接お店へ買い物に行く頻度【1つだけ】	ア.週に（ ）日 イ.月に（ ）日 ウ.年に（ ）日 エ.出かけない → 「問10 通院の状況」へお進みください。		
③よく行く買い物先の市町名【いくつでも】 ※具体的な店名もご記入下さい	ア.江差町 イ.上ノ国町 ウ.厚沢部町 エ.乙部町 オ.函館市 カ.七飯町 キ.北斗市 ク.その他（ ） 例) ○○スーパー ××店 など 具体的な店名①（ ） 具体的な店名②（ ） 具体的な店名③（ ）		
④買い物に行く際の交通手段【いくつでも】	ア.徒歩 イ.自転車 ウ.函館バス エ.タクシー オ.原付・バイク カ.自動車(自分の運転) キ.自動車(家族の送迎) ク.自動車(家族以外の送迎) ケ.その他（ ）		
⑤よくお出かけをする曜日【いくつでも】	ア.特に決まっていない イ.月曜日 ウ.火曜日 エ.水曜日 オ.木曜日 カ.金曜日 キ.土曜日 ク.日曜日		
⑥買い物先に到着する時間帯	記入例）（ 9 ）時台 （ ）時台	⑦買い物先での滞在時間	記入例）（ 1 ）時間（ 30 ）分 （ ）時間（ ）分

問10 通院の状況についてお聞きします。

①病院に行く頻度【1つだけ】	ア.週に（ ）日 イ.月に（ ）日 ウ.年に（ ）日 エ.出かけない → 「問11 私用などのお出かけの状況」へお進みください。		
②よく行く通院先の市町名【いくつでも】 ※具体的な病院名もご記入下さい	ア.江差町 イ.上ノ国町 ウ.乙部町 エ.乙部町 オ.函館市 カ.七飯町 キ.北斗市 ク.その他（ ） 記入例) ○○病院 ××医院 など 具体的な病院名（ ）		
③病院に行く際の交通手段【いくつでも】	ア.徒歩 イ.自転車 ウ.函館バス エ.タクシー オ.通院先の無料送迎バス カ.原付・バイク カ.自動車(自分の運転) キ.自動車(家族の送迎) ク.自動車(家族以外の送迎) ケ.その他（ ）		
④よく通院する曜日【いくつでも】	ア.特に決まっていない イ.月曜日 ウ.火曜日 エ.水曜日 オ.木曜日 カ.金曜日 キ.土曜日 ク.日曜日		
⑤通院先に到着する時間帯	記入例）（ 8 ）時台 （ ）時台	⑥通院先での滞在時間	記入例）（ 2 ）時間（ 00 ）分 （ ）時間（ ）分

問11 私用などのお出かけの状況についてお聞きします。

①私用などで出かける頻度【1つだけ】	ア.週に（ ）日 イ.月に（ ）日 ウ.年に（ ）日 エ.出かけない → 問12へお進みください。		
②よく行くお出かけ先の市町名【いくつでも】 ※江差町内の具体的なお出かけ先もご記入下さい	ア.江差町 イ.上ノ国町 ウ.厚沢部町 エ.乙部町 オ.函館市 カ.七飯町 キ.北斗市 ク.その他（ ） 江差町内の具体的なお出かけ先（ ）		
③お出かけの際の交通手段【いくつでも】	ア.徒歩 イ.自転車 ウ.函館バス エ.タクシー オ.お出かけ先の無料送迎バス カ.原付・バイク キ.自動車(自分の運転) ク.自動車(家族の送迎) ケ.自動車(家族以外の送迎) コ.その他（ ）		
④よくお出かけをする曜日【いくつでも】	ア.特に決まっていない イ.月曜日 ウ.火曜日 エ.水曜日 オ.木曜日 カ.金曜日 キ.土曜日 ク.日曜日		
⑤お出かけ先に到着する時間帯	記入例）（ 10 ）時台 （ ）時台	⑥お出かけ先での滞在時間	記入例）（ 3 ）時間（ 00 ）分 （ ）時間（ ）分

問12 スマートフォン等の携帯端末はお持ちですか【1つだけ】

ア.持っている イ.持っていない → 問14へお進みください。
--

※問12で「ア.」と回答された方にお聞きします。
問13 主なネット利用の用途を教えてください【いくつでも】

ア.コミュニケーション(SNSやアプリ通話含む) イ.動画視聴 ウ.音楽視聴 エ.ゲーム オ.情報検索 カ.ショッピングやオークション キ.ニュース ク.地図やナビゲーション ケ.その他（ ）

江差町の公共交通をより良くするためのアンケート調査
～江差町役場庁内からの主要意見一覧～

No	意 見	対 応
1	あなたの住所は、小学校地区とすると、住民が困惑する可能性が高いので町名での区分けとすべき	町名で修正
2	自動車の運転意向について、「3. 今すぐにでもやめたい（免許返納したい）」との選択肢があるが、免許返納をしたい理由などを求めるべき	免許返納したい理由あるいは免許返納がいきなりできない理由を記入する欄を追加
3	将来、運転が困難になった場合の移動手段について、江差町の場合、江差線が廃線となった関係で、日常利用としてJRを利用するケースがほとんどないように思われるため、「JRを利用する」選択肢は不要では	選択肢からJR利用を削除
4	通学・通勤の状況・買い物の状況・通院状況・お出かけ状況について、行先の市町村の選択肢があるが、江差町の場合、選択肢以外の市町村として北斗市や七飯町付近の利用ケースがよくあり、逆に木古内町方面への利用はあまりないように思われるので、選択肢範囲の再考をすべきでは	木古内町を削除し、北斗市・七飯町を追加
5	今年度実証実験を行うオンデマンド型交通など、今後の取り組みを考慮すると、スマホなどの携帯端末の利用状況等についての設問も反映すべきでは	スマホ機器の利用状況を「2. 日常的な生活状況」で、新たなサービスを運用することによる外出回数の変化及び利用目的を「3. 公共交通に対するニーズ」に追加する形で整理
6	性的マイノリティ（LGBT等）に対する考え方を考慮し、その他などの選択肢を追加すべきでは	その他を追加
7	問6について、 (1)クロス集計することとなっているため、問1の年齢とこの設問を集計することで将来的な移動困難世帯数などの分析を行うことが可能ということか (2)「ア. 徒歩、自転車」⇒「ア. 徒歩、自転車、バイク」の方が良いのでは	(1) 問5のウを回答しており、かつ問6のクと回答した方は、運転困難でかつ移動手段がない属性と考えられ、そのような方の傾向把握が可能 (2) 免許を返納した段階で、バイクの運転もできなくなることが想定されるため、現状のままで整理

江差町の公共交通をより良くするためのアンケート調査
～江差町役場庁内からの主要意見一覧～

No	意 見	対 応
8	問9の「①商品宅配等の利用状況」について、介護や障害などのヘルパーに対する買い物依頼も想定されるため、当該項目の追加及び複数回答とすべきでは	選択肢の追加及び複数回答に修正
9	問10の「③病院に行く際の交通手段」について、函館市内の病院などで施設独自による送迎バスを運行しているケースがあることから、選択肢に当該項目を追加すべきでは	選択肢に追加
10	問11の「③のお出かけの際の交通手段」について、選択肢の一つに「カ.ぬくもり保養センター無料送迎バス」があるが、町内では繁次郎温泉の無料バスなど施設ごとで送迎バスを運行しているケースがあることから「お出かけ先の無料送迎」などの表現に修正すべきでは	お出かけ先の無料送迎バスに修正
11	問16について、希望運賃の回答の多くは安ければ安い方が良いと考える人でおそらく大多数が100円を回答することが予想されるため「最大いくらまでなら利用する」といった表現に修正すべきでは	設問を「1回当たり最大いくらまでであれば利用しますか」に修正
12	問19・22について、1つだけの回答ではなく複数回答とすべきでは	主に利用したい目的を把握し、外出機会の変化等について分析を行うため、1つに限定した設問で整理する
13	問9③について、よく行く買い物先の市町名を複数回答するのであれば、具体的な店名についても複数回答していただくよう回答欄を追加すべきでは	具体的な店名を最大3店舗まで記入できるよう修正 ※店名を複数回答してもらった意味合いとして、例えば週1回3店舗回る場合や週3回1店舗行く場合など、買い回りの状況（立地適正化計画に基づく“まちなか”での滞在増加など）について分析することが可能

江差町の公共交通をより良くするためのアンケート調査
～江差町役場庁内からの主要意見一覧～

No	意 見	対 応
14	問15について、<u>立地適正化計画</u>において“ライドシェア”や“フリー乗降”の導入検討を明記しているため、特に“ライドシェア”の利用希望者や運転手としてやる気のある人の割合を拾う設問項目など追加してはどうか (例：同じ時間に同じ方向に向かう人の車に相乗りするシステムを利用したい) 【ライドシェアとは】 自動車等の相乗りを指すもので、最近では一般のドライバーが自家用車を使用して利用客を運ぶ有料のビジネス	ライドシェアについて、制度としては非常に便利であるが、一般の方同士の送迎になるため、安全性の観点から、まずはプロである交通事業者様に生活移動の支援をしていただくことを優先的に考えるべきであることから、今回の選択肢からは除外する方向で整理 ※業務委託業者である日本データサービス(株)より次のとおり意見あり ①他自治体のアンケートにて、運転手の担い手としての意向を聞いたことがあったが、既に地域住民同士でやっているが、万が一のことを想定すると止めたい、などの意向があり、このような意向は、どこの地域でも同様であり、ライドシェアとしてシステム化してしまった場合、誰がその責任を負うのかといった不安を煽ることになる可能性がある ②アンケートの問15でデマンド交通のニーズについてお聞きするが、この形態の意向が高い地域においては、交通事業者がやりきれない場合、ライドシェアに移行することも想定できるので、ライドシェアの検討については最終手段として考えるのが妥当であり、あえて設問に組み込む必要はないと考える

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業)

に関する事業評価の実施について

1. 趣 旨

国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条第5項により、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定協議会は補助対象事業ごとに補助対象事業について事業評価を行い、その結果を地方運輸局へ報告する必要があることから、本協議会における補助対象事業に関する事業評価を行い、その結果を北海道運輸局長に報告するもの。

【参考】地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第3条 抜粋

第5項 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

2. 事業評価対象

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）

3. 令和3年度補助対象事業実施期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

※ 事業が完了していない場合は、協議会が自己評価を実施する時期までが評価対象期間

4. 事業概要

【補助対象事業】江差町地域公共交通計画（案）策定業務

【事業内容】現況交通実態調査、町民ニーズ把握調査（アンケート調査）、町民意見交換会、江差町地域公共交通活性化協議会開催

【補助対象経費】4,004,000 円 【補助金額】2,002,000 円（補助率 1/2）

（※1）補助対象経費については、業務委託業者である「日本データーサービス株式会社」への業務委託費用。

（※2）当初、「補助対象経費：7,038,900 円・補助金額：2,463,615 円」により交付決定されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業開始時期が後ろ倒しとなったことで、今年度予定していたバス利用実態調査等の項目の実施を見送りとしたため、上記金額への変更が生じたもの。

5. 事業評価(案)の内容

【資料5】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画策定に係る事業）

【資料6】地域公共交通計画策定に係る事業の取組状況等

【案】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和4年1月 日

協議会名:江差町地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容】 ・現況交通実態調査 ・町民ニーズ把握調査(2月実施予定) ・町民意見交換会(3月実施予定) 【結果概要】 ・既存データを活用し、移動の足の確保が必要となる地区の浮き彫りを実施 ・バス停等の位置情報データから、交通空白地域の特定及びバス停からアクセスが困難な都市機能施設等を整理 ・これら整理から、以下の課題を抽出 ■現況交通実態調査から見える課題 ・市街地内における公共交通による移動サービスの維持・確保 ・郊外部の居住形態に即した交通の検討 ・高齢者にも利用しやすい交通モード及び交通サービスの提供 ・市街地以外の地域から市街地及び伏木戸町までのアクセス交通の確保 ・市街地や農村部などの交通空白地域の対応 ・自動車運転免許のない町民の移動手段の確立	B 事業開始時期が後ろ倒しとなり、タイトな中での事業実施ではあり、かつ新型コロナウイルス感染症の影響により、町民ニーズ把握調査及び町民意見交換会の実施がさらに後ろ倒しになる可能性があるものの、予定している事業内容は年度内に完了予定	・今年度は実態把握を主で進めており、現状で想定し得る方針を整理 ・方針及び施策内容等については、次年度に検討を進め、計画策定を予定 対象区域:江差町内 計画期間:令和5年度～令和9年度 計画の方針: 方針①:先進技術も活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入検討 方針②:地域内交通と広域交通の接続拠点を創出検討 方針③:公共交通の利用促進策の検討 方針④:町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

江差町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

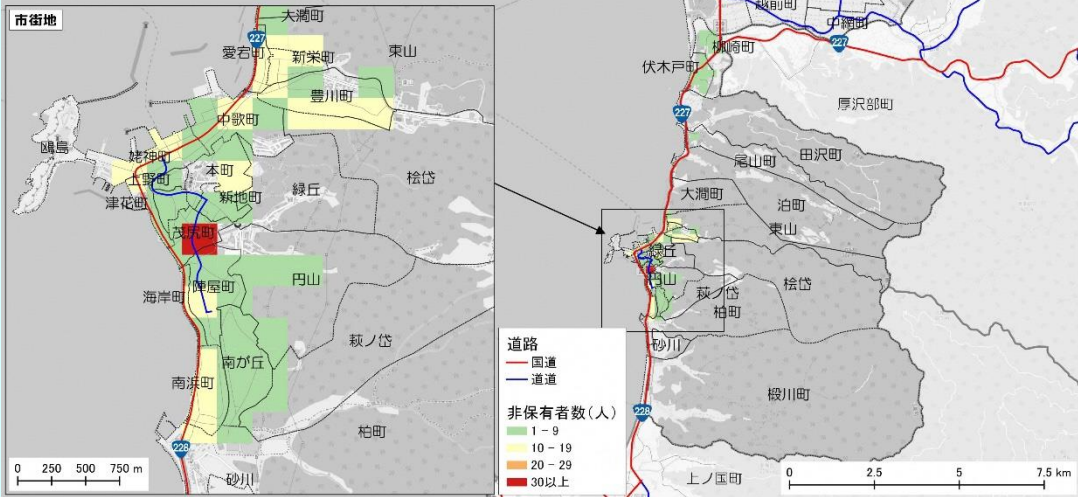
1. 現況交通実態調査

- ・公安委員会保有の運転免許証の返納データを活用し、運転免許証非保有者の分布状況を整理し、移動の足が必要となる地区の浮き彫りを実施
- ・バス停等の位置情報データを活用し、公共交通空白地域の特定及びバス停からアクセスが困難な都市機能施設等を整理

【現況交通実態調査から見える課題】

- ・市街地内における公共交通による移動サービスの維持・確保
- ・郊外部の居住形態に即した交通の検討
- ・高齢者にも利用しやすい交通モード及び交通サービスの提供
- ・市街地以外の地域から市街地周辺地域までのアクセス交通の確保
- ・市街地や農村部などの交通空白地域の対応
- ・自動車運転免許のない町民の移動手段の確立

運転免許非保有率の算定：年代別運転免許保有状況（R2.12）より年代別の保有率を算定、保有率を国勢調査（H27）の値に乗じて算定



都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏
公共施設	江差町役場	-	○
	泊生活館	-	-
	対鷗館	-	○
	陣屋団地集会所	○	○
	五勝手生活館	○	○
	江差町会会館	-	○
	水堀コミュニティセンター	-	-
教育施設	南が丘ふれあいセンター	-	○
	北海道立江差高等学校	○	○
	生きが交流センター	○	○
医療・福祉施設	老人福祉センター	-	-
	江差町子育て支援センター	-	○
	佐々木病院	○	○
	江差脳神経外科クリニック	○	○
	道南勤医協江差診療所	-	○
	北海道立江差病院	○	○

100m圏、300m圏：各施設より100m・300mに、バス停があるものは「○」

都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏
金融機関	江差郵便局	-	○
	江差愛宕郵便局	-	○
	江差茂尻郵便局	-	○
	江差尾山郵便局	-	○
	道南うみ街信用金庫本店	-	○
	北洋銀行江差支店	-	○
商業施設	フードセンターブテン江差店	-	○
	ラルズマート江差店	-	○
	DCMホームマック江差柳崎店	-	○
	イエローグローブ江差店	-	○
	ツルハドラッグ江差新地町店	○	○
	サツドラ江差店	○	○
	サツドラ江差柳崎店	-	○

地区名	割合	地区名	割合
新栄町	15.8%	柏町	22.0%
愛宕町	19.5%	南が丘、萩ノ岱	12.1%
豊川町	14.0%	砂川	2.0%
東山	37.2%	榎川町	24.1%
桧岱	24.0%	大淵町	18.5%
中歌町	19.2%	泊町	23.0%
姥神町、鷗島	30.1%	尾山町	20.5%
津花町	23.1%	田沢町	21.5%
上野町	13.9%	伏木戸町	6.9%
橋本町	17.6%	柳崎町	21.1%
本町	16.3%	五厘沢町	29.4%
新地町	14.4%	水堀町	18.2%
緑丘	8.4%	越前町	19.1%
茂尻町	21.3%	中網町	18.2%
円山	9.1%	小黒部町	23.0%
陣屋町	13.1%	朝日町	20.5%
海岸町	26.0%	鰯川町	28.2%
南浜町	15.5%		

赤字：町全体の平均
(16.9%) 以上

江差町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●事業の結果概要

2. 町民ニーズ把握調査（アンケート票を作成中、2月中に実施予定）

2-1 調査の目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、町民の生活圏の把握に加え、町民が考えている公共交通に対するニーズを把握することが目的

2-2 調査対象

- ・江差町に居住する15歳以上の町民（1,700世帯）

2-3 調査項目

項目	内容	ねらい
1. 属性	・性別、年齢 ・職業 ・居住地 ・免許証及び自動車の保有状況 ・自動車の運転意向 ・運転困難時の移動手段 ・免許証返納による困ること	・年齢や免許証保有状況、地区などの個人属性の把握 ・他項目とのクロス集計による属性ごとの傾向分析に活用
2. 日常的な生活状況	・移動手段及び移動先、移動時間等 -通勤・通学、買い物、通院、私用などのお出かけの4目的	・現状の生活行動の実態把握 ・「生活圏」及び「医療圏」の把握・分析に活用
3. 公共交通に対するニーズ	・普段の移動で困っていること ・運行してほしい公共交通 -その運賃 -導入による外出機会の変化 -その利用目的 ・MaaS等の利用意向 -スマートフォン等の携帯端末の保有状況 -携帯端末の利用用途 -携帯端末を活用した公共交通予約等のサービス利用意向	・新たな公共交通等の導入に関する検討項目 ・個人属性等とクロス集計により、各地区で導入すべきモードの検討やMaaS等の利用意向を把握に活用

3. 町民意見交換会（3月中に実施予定）

3-1 意見交換会開催の目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、町民ニーズ把握調査等では把握できない、細かな町民の生活移動実態や公共交通へのニーズを把握することが目的

3-2 意見交換会対象

- ・江差町に居住する町民

3-3 意見交換会内容

- ・現状の移動状況及び生活圏
- ・普段の生活移動で困っていること
- ・提供してほしい生活移動支援策

江差町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

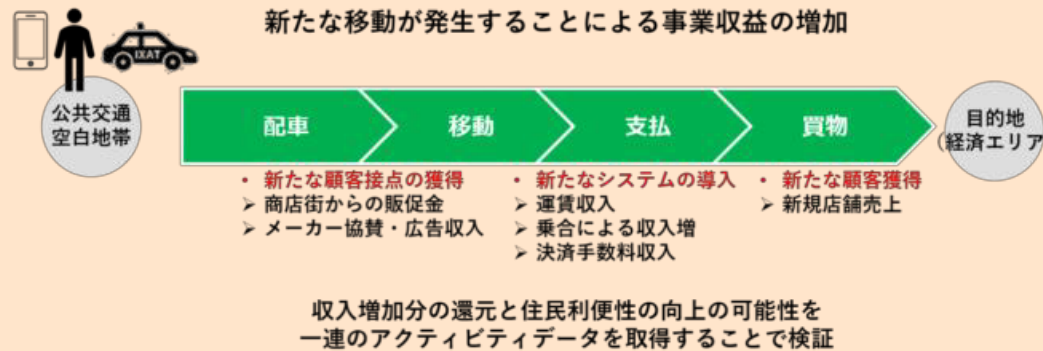
●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

方針① 先進技術も活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入検討

- ・令和4年2月から実証実験の開始を予定する江差マース事業と連携し、地域産業の活性化にも寄与する公共交通形態の導入を検討

【江差マース事業の概要】

- ・サツドラの「江差EZOCA」を活用した、オンデマンド型交通の実証実験
- ・利用者のアクティビティデータを活用した、継続的な運行改善の実施
- ・EZOCAポイントカードの活用によるまちづくりへの寄与（「江差EZOCA」を使えば使うほど、江差町に売上の一部が還元される仕組み）



方針② 地域内交通と広域交通の接続拠点を創出検討

- ・本町では、平成30年3月に「北の江の島構想」を策定しており、本町のシンボルである「かもめ島」周辺の利活用による拠点整備を検討中
- ・「北の江の島構想」では「かもめ島」周辺を地域住民や来訪者等の交流拠点として再整備を進める予定としており、地域内交通と広域交通を繋ぐ交通結節点の整備を検討
- ・「かもめ島」周辺には、本町と奥尻町を繋ぐフェリーターミナルも立地しており、拠点とフェリーターミナルを繋ぐモビリティの導入等により、来訪者等の移動手段の提供にも寄与
- ・加えて、町内の市街地中心部に位置する旧江光ビル跡地を活用し、町内の人流拠点となり得るコミュニティ施設の整備を予定しているため、当該施設への移動手段の確立を含めた地域内交通の検討



江差町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

方針③ 公共交通の利用促進策の検討

- ・本町内に立地する北海道江差高校において、朝の通学や夕方の帰宅時における「送迎渋滞の解消」が学生等の安全性の観点からも喫緊の課題
 - ・町内を運行する公共交通の維持・確保に向け、利用者数の確保を行うための利用促進策の展開が必要
- ※本町の利用促進策の一つとして、65歳以上の高齢者等を対象とした路線バスの利用者に対する町内移動分の運賃半額助成券の交付を行っているが助成方法や利用枠などの見直しを検討

方針④ 町民等の広域的な移動機会の確保に寄与する連携策の実施

- ・令和4年度以降から検討を開始する「（仮称）道南地域公共交通計画（渡島総合振興局及び檜山振興局主導）」と本町で策定する地域公共交通計画を連携させ、本町の町民及び本町への来訪者等の広域的な移動手段の確保に係る連携策を実施
- ※具体的な内容については、「（仮称）道南地域公共交通計画」で位置づける施策検討段階において検討予定

●事業実施の適切性

事業開始時期が後ろ倒しとなり、タイトなスケジュールでの事業実施であり、かつ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、町民ニーズ把握調査及び町民意見交換会の実施がさらに後ろ倒しになる可能性があるものの、予定している事業内容は年度内に完了予定

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄

「江差マース」実証実験 実施概要

1. 背景

町内の公共交通の現状として、最寄りのバス停から離れた場所に位置する「公共交通空白地域」が点在するほか、買い物などの生活移動の大半が自家用車に強く依存しており、特に公共交通機関の基軸である路線バスの利用者数は、近年、減少の一途を辿っている状況。

今後、更なる人口減少や高齢化が進行していく中においては、より一層、自家用車以外の移動手段の確保に努めていく必要がある。

今回、こうした公共交通の課題解決の一助とするべく、町と包括連携協定を締結している「サツドラホールディングス株式会社」と連携し、本実証実験を実施するもの。

2. 実施期間等

(1) 運行期間：令和4年2月1日（火）から2月28日（月）

(2) 運行時間：平日8時から16時まで（土日祝日・10日・17日は除く）

※ 運行事業者による通常営業の支障のない範囲内での時間設定

3. 利用対象者

町内の公共交通空白地域の一つである「新栄町、豊川町、愛宕町、東山、桧岱、中歌町」に住所を有する町民

4. 運行事業者

有限会社桧山ハイヤー

5. 運行車両

ジャンボハイヤー1台

※ 乗車定員は9人乗りであるが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、本実証実験では最大乗車人数を5人で運用する。

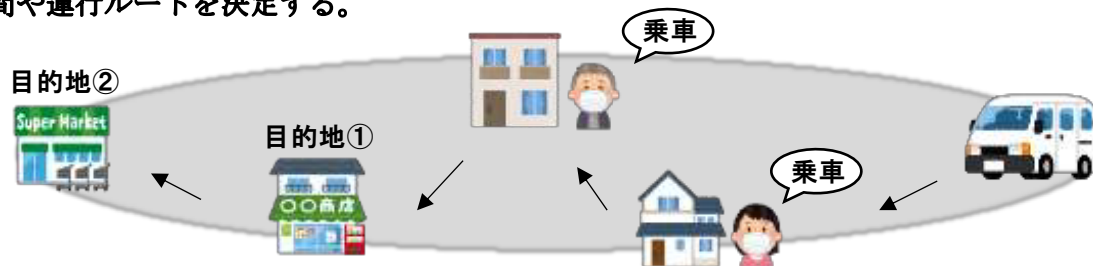
6. 運行方法

「新栄町、豊川町、愛宕町、東山、桧岱、中歌町の居住エリア」と「上町商店街地区を中心とした経済エリア」をつなぐ「オンデマンド型交通サービス」を提供する。

具体的には、利用対象者の自宅とサツドラなどの関係機関との調整により設定した乗降地点間の送迎を無償で行う。

オンデマンド型交通サービスとは

⇒予約型の乗合交通手段で、特定の路線（ルート）を運行するのではなく、乗客の予約内容に応じて時間や運行ルートを決定する。



※予約に応じて乗り合いを行いながら最短経路で移動

※予約する時間やルートといった配車計算については未来シェアが開発した「SAVS」を活用

7. 乗降地点

江差マース実証実験 対象エリアマップ（資料 8）のとおり

※ 経済エリアから居住エリア内の自宅までといった帰宅時の送迎だけでなく、経済エリアにおける乗降地点間の送迎といった、同一エリア内での送迎も可能。

8. 配車予約

「専用のスマホアプリ」または「電話（自動音声）」により、希望する「日時・出発地・到着地・乗車人数」を入力の上、配車予約を行う。

9. 住民周知

- (1) 令和 4 年 1 月 31 日（月）から 2 月 1 日（火）の 2 日間で本実証実験に関する住民説明会（※1）を実施予定。
- (2) 書面による周知として、広報えさし 1 月号（資料 9）のほか、対象町民（新栄町・豊川町・愛宕町・東山・桧岱・中歌町）へサツドラ作成のチラシ（資料 10）を配布。
- (3) 本実証実験の利用にあたっては、事前登録を必要とするため、希望者から利用申込書（資料 11）（※2）の記入・提出を求める。
- (4) 利用申込者に対して、円滑な利用へと繋げるため「利用者ガイド」などの配布を予定。

※1 当初、1 月 21 日（金）の開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、上記日程に延期。

※2 サツドラ作成のチラシとともに対象町民へ配布。

10. 実証実験終了後

- (1) サツドラ側で利用者情報を抽出し、利用実績や傾向について分析するほか、対象町民に対するアンケート調査を実施予定。
- (2) 実証実験の利用実績やアンケート調査の実施結果等については、令和 3 年度第 3 回江差町地域公共交通活性化協議会（3 月下旬頃の実施を予定）にて報告予定。

11. 関係機関

機 関 名	内 容
サツドラホールディングス株式会社	実施主体／運営・企画
江差町	実証地域の提供／広報
株式会社駅探	配車アプリの開発・運用
株式会社未来シェア	S A V S の運用サポート／他地域の事例提供
有限会社桧山ハイヤー	ジャンボハイヤーの運行
株式会社リージョナルマーケティング	江差 EZOCA の運用サポート
公立大学法人公立はこだて未来大学	運営における助言
札幌市立大学	運営における助言
北海道経済連合会	運営における助言／各種情報提供
QUALITY HOKKAIDO 一般社団法人	運営における助言／各種情報提供

江差マース実証実験 対象エリアマップ



「公共交通空白地域」の解消に向けた実証実験を実施します

この度、町民にとって利便性の高い公共交通網の構築に向けた取り組みとして、町内を実証エリアとするMaas（マース）サービスの実装化に向けた実証実験を実施することとなりました。

◆公共交通の課題

町内の公共交通の課題として、最寄りのバス停から離れた場所に位置する「公共交通空白地域」が点在するほか、買い物などの生活移動の大半が自家用車に強く依存しており、公共交通機関の基軸である路線バスの利用者数が近年、減少の一途を辿っている状況となっております。

今後、更なる人口減少や高齢化が進行していく中では、利便性の高い公共交通網を構築し、自家用車以外の移動手段の確保に努めていく必要があります。



◆実証実験の概要

本実証実験は、町と包括連携協定を締結している「サツドラホールディングス株式会社」が主たる事業者として実施するもので、町では公共交通の課題解決につながる取り組みとして、実証区域の提供という観点で連携を図りながら、進めてまいります。

実施内容としては、町内の「公共交通空白地域」の一つである新栄町、豊川町、愛宕町、東山、松岱、中歌町地域と商店街地区を中心とする上町地域間をつなぐ「オンデマンド型交通サービス」の提供を行う予定としております。

◆実施期間

令和4年2月の1ヶ月間
（※土日祝日除く平日運行）

◆実施方法

利用者が希望する時間にに応じて、自宅等の希望場所から目的地までの送迎を「無償」で行います。

※今回の取り組みについては、実証区域内に限定した運行となりますので、ご注意ください。

◆利用対象者

新栄町、豊川町、愛宕町、東山、松岱、中歌町に住所を有する方のご利用が可能となります。

※利用者におかれては事前の会員登録が必要となります。

◆利用方法

ご利用時には「スマホアプリ」または「電話（自動音声対応）」による事前予約が必要となります。

◆住民説明会の開催

本実証実験の詳細をご説明させていただく機会として、住民説明会の開催を予定しております。

日時 令和4年1月21日（金）

①午前10時 ②午後2時

③午後6時 計3回開催

会場 江差町老人福祉センター
（新栄町264番地2）

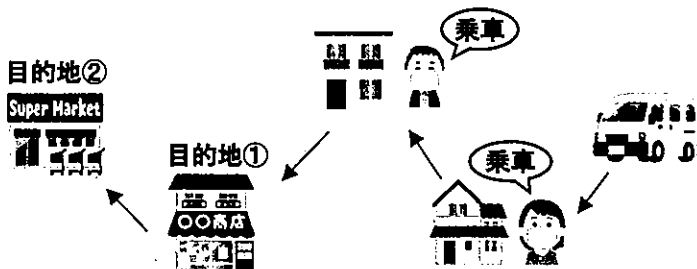
※ご参加の際は、事前申込が必要となりますので、「1月18日（火）まで」にお問い合わせ先までご連絡の上、お申込みください。

お問い合わせ先

まちづくり推進課まちづくり推進係

（052-6712）

～ オンデマンド型交通サービスイメージ ～



※予約に応じて乗り合いを行いながら最短ルートで移動

Maas（マース）とは

⇒「モビリティ・アズ・ア・サービス」の略称で、バスやタクシーなど多様な交通手段を情報技術（IT）や人工知能（AI）を組み合わせる次世代移動サービス。

オンデマンド型交通サービスとは

⇒予約型の乗合交通手段で、特定の路線（ルート）を運行するのではなく、乗客の予約内容に応じて時間や運行ルートが決定する。

ご自宅からご目的地まで、好きなときに気軽に移動！便利に買物！

運賃
無料！

利用したら
EZOポイント
100pt
プレゼント！

2/1～「江差マース」実証運行開始！



江差マースとは…

みなさまがお住いの「居住エリア」と、お店や病院がたくさんある本町・新地町といった「経済エリア」をハイヤーでつなぐあたらしい移動手段です。

ハイヤーは運行時間中であればいつでも好きな時間に携帯電話かアプリで呼ぶことができ、ご自宅の前まで迎えに来るので、登録した行先・目的地まで「便利で快適に」、「無料でお得に」移動ができます。※目的地・乗降拠点一覧は裏面でご確認ください

予約は簡単、3ステップで完了！！

① 事前登録する

(江差町役場まちづくり推進課)

② 予約する

・電話かスマホアプリで予約
・乗車、降車拠点Noを入力
・迎車希望時間、人数を入力

③ 乗車する

・予約乗車時間が来たら、乗車拠点の外で待機
・名前を伝えて乗車

④ 移動する

・予約時に指定した降車拠点へ
・降車拠点から目的地へ移動
・お買物、通院などご自由に！

予約する方法(最大乗車人数は5名です。)

■ 電話予約 (自動音声)

■ スマホWEBアプリで予約

江差町役場2F「まちづくり推進課」で事前申込み (利用者全員)

※ご自宅住所やご利用の電話番号等の利用者登録が必要なため

受付電話番号

050-3174-6443

携帯電話・スマホで呼び出し

(登録した電話番号のみ利用可能)

自動音声にて案内

1. 希望日にちを入力してください (今すぐは1、本日は2、明日は3)
2. 配車希望時刻を入力してください
3. 出発地を入力してください
4. 到着地を入力してください
5. 乗車人数を入力してください

自動音声に従い番号を入力

1. 本日の場合「2」
2. 午後2時の場合「1400」
3. 自宅出発の場合「01#」
4. サツドラ江差店へ行く場合「26#」
5. 2人で乗る場合「2」



スマホのWEBアプリにログイン、必要情報 (デマンド) 入力

1. WEBアプリからログインする (上記QRコードより)
ID : EZOCA番号 (EZOCAカード裏面の数字13桁)
パスワード : 申込書記載の電話番号下6桁を入力
2. 乗車位置を設定する
地図上の★印 (ランドマーク) から乗車希望位置を選択し、「ここを出発地にする」をタップ
3. 降車位置を設定する
地図上の★印 (ランドマーク) から降車希望位置を選択し、「ここを目的地にする」をタップ
4. 希望日時・乗車人数 の設定
希望日時 (出発 / 到着 / 今すぐ) と乗車人数を設定し「この内容で申し込む」をタップ
5. 配車の確定
お迎え予定時刻、到着予定時刻、乗車人数等を確認、よろしければ「確定」をタップし配車を確定。
※時間内に確定しない場合は、入力が無効になります

受付完了！！ご予約のお時間になりましたら乗車地点の外でお待ちください

【運行時間】平日8時から16時まで (10日・17日は除く)

【予約受付】当日分&翌日分、1人当たり最大4件まで予約が可能 (24時間受付)

江差マース実証実験 対象エリアマップ



営業日

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5

- ・運行期間：2022年2月1日-28日
- ・運行時間：8時～16時まで

お問い合わせ

【電話予約（自動音声）】
050-3174-6443

【サービスに関するお問い合わせ】
・江差町まちづくり推進課
0139-52-6712

※配車予約を江差町役場にて
行うことはできません



■ご利用の際の注意事項

- “江差マース”は北海道経済産業局「令和3年度 北海道におけるMaaS実装化に資する収益循環モデルの事業性調査・分析事業」をサツドラホールディングス株式会社が受託し提供するものです。
- 上記事業性調査・分析のための利用者ヒアリング、利用風景の撮影など各種の記録をおこないます。素材については対外的な公表にも活用する可能性もございますが予めご理解ご協力をお願いいたします。
- “江差マース”利用の際には「利用申込書」の記入・提出が必要となりますので、右記「江差町まちづくり推進課」にお問い合わせください。
- “江差マース”利用に際してはEZOCA番号が必要となります。EZOCAカードをお持ちでない場合は新たに発行の必要がございますのでお近くのサツドラ、EZOCA加盟店にて発行ください。
- EZOポイントプレゼントは利用回数に限らず、ご利用1名様に対し100ptが2022年4月中旬までに自動的に付与されます。
- 本サービスは有限会社松山ハイヤーの車両（ジャンボハイヤー）にて運行をおこないます。
- 乗り合いが発生する関係上、予約時に指定した乗車時間が前後する可能性がございますので予めご了承ください。
- 対象地区は居住エリア（新栄町、豊川町、愛宕町、東山、松谷、中歌町、姥神町、上野町、橋本町、本町、新地町、茂尻町、円山）の移動にのみ使用可能です。

江差町オンデマンド型交通「江差マース」 利用申込書（案）

- 江差町オンデマンド型交通「江差マース」（以下「本サービス」という。）をご利用の場合、利用申込書（以下「本申込書」という。）
下段の「個人情報の取り扱いに関して」「利用に際しての確認事項」を必ずご確認の上、同意にチェックをお願いします。
- 太枠内の該当箇所にご記入ください。
- 本申込書1枚につき、同一世帯であれば、5名様まで登録いただけます。
5名様を超える場合には、本申込書をコピーして使用してください（ご家族は同居人も含みます）。

登録内容（いずれかに○を付けてください）										記入日								
利用申込 ・ 変更 ・ 利用停止					西暦				年 月 日									
郵便番号					住所													
					北海道檜山郡江差町													
No	フリガナ	性別	生年月日	携帯電話番号								本人状況						
	姓	名		EZOCA番号（カード裏面記載の13桁の数字）														
(例)	エサシ	シゲジロウ	男	西暦	0	8	0	-	1	2	3	4	-	5	6	7	8	☒ 電話で利用
	江差	繁次郎	女	1900年 8月 11日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
備考 家の前の道が狭いので送迎の際は自宅近くの〇〇をお願いいたします。																		
1			男	西暦				-					-					☐ 電話で利用
			女	年 月 日														☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
2			男	西暦				-					-					☐ 電話で利用
			女	年 月 日														☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
3			男	西暦				-					-					☐ 電話で利用
			女	年 月 日														☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
4			男	西暦				-					-					☐ 電話で利用
			女	年 月 日														☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
5			男	西暦				-					-					☐ 電話で利用
			女	年 月 日														☐ WEBアプリで利用 ☐ 車いす利用 ☐ 障がい者手帳保持者
備考																		

■利用に際しての確認事項

- ・本サービスは北海道経済産業局「令和3年度 北海道におけるMaaS実装化に資する収益循環モデルの事業性調査・分析事業」をサツドラホールディングス株式会社が受託し提供するものです。
- ・上記事業性調査・分析のための利用者ヒアリング、利用風景の撮影など各種の記録をおこないます。素材については対外的な公表にも活用する可能性もございますが予めご理解ご協力をお願いします。
- ・本申込書に記入いただく「住所」は本サービスで「自宅」として拠点登録されますので間違いのないようにご記入ください。
- ・「携帯電話番号」は本サービスの利用者として事前登録いたしますので、必ずご利用者様本人の携帯番号をご記入ください。
- ・本サービスの利用に際しての通話料、通話料はご利用者様負担となりますので予めご了承ください。
- ・本サービスの利用に際してはEZOCA番号が必要になります。EZOCAカードお持ちでない場合は新たに発行の必要がありますのでお近くのサツドラ、EZOCA加盟店にて発行ください。
- ・EZOポイントプレゼントは利用回数に限らず、ご利用1名様に対し100ptが2022年4月中旬までに上記記載いただいたEZOCA番号のカード自動的に付与されますのでお間違いのないようご記入ください。
- ・本サービスは有限会社松山ハイヤーの車両（ジャンボハイヤー）にて運行をおこないます。

■個人情報等の取り扱いに関して

記載していただいた個人情報については、

- ・本サービスの利用およびその分析に係る用途以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することもしません。
- ・管理責任者を定め、紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施いたします。
- ・本サービスを利用いただくためにシステム運用をおこなう株式会社駅探のデータベースおよび株式会社未来シェアの提供する便乗配車計算を行うサービス（SAVS）のシステムに登録されます。
- ・システムへのデータの入力についてはサツドラホールディングス株式会社もしくは江差町がおこないます。
- ・本サービス提供期間終了後（2022年3月末）に順次削除し、4月末日を目途に削除を完了させます。

✓を入れる

上記「利用に際しての確認事項」「個人情報等の取り扱いに関して」に同意し、本サービスに申し込みます

☐